

イチから手作りの アルミボックス、堂々完成!



デザイン時に重視したカタマリ感を生み出すためにアルミバンのサイド面はキャビンとルーフポイラーと一体化する丸みを帯びた形状に。車体左側の荷台アオリはエンジニア社の依頼により水平固定できるように加工してある。

「近未来の軽アルミバン」をテーマにデザイン&設計



「働くクルマとして機能性やタフさも表現するためにルーフレールやフォグランプも設置した」というラフスケッチ。福島さんの工場では軽量のアルミを加工して作ったアルミバンは構造上取り外しも可能。自動車のデザイン開発を行う、D&D社ではオリジナルブランド「AR-SPORT」として軽トラパーツの販売も開始している。

ディーアンドディー
〒226-0011 神奈川県横浜市緑区中山町 320-5
TEL/045-482-4030 www.dd-asia.jp



大田晃さん

コンテナ組みの“オヤジの遊び場”

骨格を自作し、コンテナを積み上げて作ったという工場内には専用設備が整い、金属加工は何でもできる。“短距離スピード競争”用の3輪カスタムバイクは趣味の作品だが、クルマ・バイク関連のカスタム依頼も多い。

フクシマファクトリー
〒226-0017 神奈川県横浜市緑区新治町 120-4
TEL/045-933-4565



福島憲治さん

ウルス号、TOHM2017にて完成披露!!

アルミバンも完成し、外装はほぼ整ったウルス号は只今、S2レーシングで最後の仕上げ塗装中。その実車はティーポ・オーバーヒート・ミーティングのエンジニアブースに登場! 次号での完成報告を前に一足早く実車を披露します。

Tipo OVERHEAT MEETING 2017

日時: 2017年7月16日(日) 7時~18時
会場: 岡山国際サーキット
入場料: 前売券2000円、当日券3000円 / 駐車料金500円
全国のローソン店舗に設置されたLoppi(Lコード:62787)で購入が可能。



@nejisaurus f ウルスくん

ENGINEER 株式会社エンジニア www.engineer.jp



ウルス号製作の最大の課題だった荷台のバン(箱)化。企画自体を左右する、その難題に取り組んだのはデザイン・設計の大田さんと金属加工の福島さん、二人の職人だった。

Special Thanks / エンジニア www.engineer.jp
エスツーレーシング 045-951-7805 s2-racing.net



本企画の軽トラはネジザウルスのイメージカラーからウルス号と命名。

「はたらくくぐれマ」
制作プロジェクト

2人の職人が作った
アルミボックスが凄い

本企画がスタートしたとき、「ラリーのサポートトラック」というイメージをCGデザイン(前号で紹介)で具現化してくれたのが大田晃さん。自動車デザイン開発業務を行うD&D社の設計&デザイナー職人だ。「イメージ案を聞いた時にカタマリ感と機能性を重視しようってすぐに決められた」。このCGを見て、この企画が一気に動き出したと言っても過言ではないほど、制作側の人間も、発注者であるエンジニア社にとっても、ドンピシャなデザイン。大田さんがデザインする上で拘ったのが一体感。ルーフポイラーを付け、アルミバンのサイド断面をキャビンと一体化させた。CG上ではすぐに出来ても実際に形にするのは決して簡単な作業じゃない。そこで登場するのが二人目の職人、福島憲治さん。D&D社から絶大な信頼を受け、さまざまな依頼を受ける金属加工の熟練職人。「本業は吸排気タクトの製造なんだけど、変な事ばかりやらされてんだよ」と笑うが金属加工なら何でもできるから、と断言する。そんな二人が手掛けたアルミバンはご覧のとおり。構造上は取り外し可能。それでいてキャビンと一体化する曲面形状。CGだけでなく実物もまた、ドンピシャな仕上げりなのだ。